

令和元年度各会計決算 に対する各会派等の 意見表

意見表(要旨)

自民党豊島区議団

令和元年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。

本決算は投資的経費が過去最大となり、扶助費も続伸していることから、過去最大規模の決算額となったが、引き続き、財政の健全性を維持した決算になったものと評価する。

個別に意見を述べる。電子申請については、区民の利便性の向上のため、拡大を求める。洪水ハザードマップは東京都のデータが更新された際には、速やかな更新を。民泊については、住民の不安を少しでも軽減させ、事故やトラブルが起きないように要望する。粗大ごみの不法投棄については、ルールを徹底を図り、パトロールを実施するなど、引き続き対策を。豊島区総合体育場の管理棟については、老朽化が進み、課題も出てきている。利用者の声を反映し、早急な改築を要望する。

コロナ禍の影響により、この先、厳しい財政運営を強いられることが想定される。過去の経済危機の教訓を生かし、今後も「身の丈に合った」財政運営に努めることを要望する。

公明党

令和元年度一般会計、3特別会計決算認定に賛成。以下、款別意見と要望です。

●東アジア文化都市交流事業をレガシーに民間との更なる協働●公用車などへのドライブレコーダーの設置●積極的な議会改革●大規模水害を想定した防災協定都市との連携強化

区民費・福祉費・衛生費

●全ての区民ひろばでのフレイル機器の展開●女性健康相談窓口の整備●若い女性へ正しい子宮頸がんの情報提供●上池袋豊寿園跡地の福祉に準じた整備●町会活動の環境支援●地域生活ケアシステム構築の推進●環境清掃費・都市整備費●IKEBUSの利用者拡大に向けた仕掛けづくり●環境施策の充実●23区が協働したカーボンゼロ推進●ながらスマホ対策の条例化と全ての交通安全対策

子ども家庭費・教育費

●コロナ禍における教育現場での適切な対応●タブレット整備による情報モラルの徹底と不登校児等支援としての活用●児童相談所設置に向け施設の充実と十分な説明の実施●一歳児の保護者のニーズに応える対応

都民ファーストの会民主

令和元年度一般会計、3特別会計決算認定に賛成。私どもの会派では、都民ファーストの視点、情報公開が十分か、賢い支出がなされているか、持続可能性があるかという、4つの基本的な視点を持ち、令和元年度決算を審議。

東アジア文化都市への挑戦と23のまちづくり記念事業による、集中的な投資を含めて、過去最大規模となった上でも、財政の健全性を維持することができた堅調な決算。また、特定目的基金への積み増し中止や発債額を増やすなどの対応により、財政調整基金を積み増すことで新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源対策を講じているという、次への備えも見据えた決算でもあり、高く評価。

また、国際アート・カルチャー都市の新たな拠点となる、ハレザ池袋の竣工、池袋西口公園、中池袋公園イケ・サンパークなどの公園整備、トキワ荘マンガミュージアムの建設など、文化を基軸にしたまちづくりなど、多くの施策を展開し、住んでみたい、住み続けたいまちづくりを着実に進めた決算であると確信。

また、国際アート・カルチャー都市の新たな拠点となる、ハレザ池袋の竣工、池袋西口公園、中池袋公園イケ・サンパークなどの公園整備、トキワ荘マンガミュージアムの建設など、文化を基軸にしたまちづくりなど、多くの施策を展開し、住んでみたい、住み続けたいまちづくりを着実に進めた決算であると確信。

日本共産党

2019年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に次の理由で反対。

第一に区民の需要にこたえていない。コロナと酷暑下でも低所得者へのエアコン購入費助成や公営住宅建設は拒否。待機者が増加する特養建設は具体化せず、一人暮らし高齢者の見守りもボランティア等まかせで区の役割を後退させた。

第二に自治体本来の役割を投げ捨て、大企業本位のまちづくりや無駄な開発を進めている。東アジア文化都市を口実にして、新ホール、池袋西口公園や大塚駅北口の無駄なリングなど不要不急の事業に莫大な税金を投入。維持管理経費も多額。がらがらのイケバス(電気バス)には総額5億円と新たに2億円を投入。一方で地域の公園トイレ改修は先送りしている。

第三にコロナによる経済悪化、歳入の大幅な落ち込みが懸念され、無駄な投資事業は今後の財政運営に大きな影響をもたらした。保険料など大幅な負担増を進めた国民健康保険、後期高齢者医療、サービス改悪を進める介護保険の3特別会計は認められない。

無所属の会

区民サービスを低下させない行政運営の観点から審査に臨み、おおむね良好な決算である一方、新型コロナウイルス感染症拡大による区民への様々なダメージが明らかになった。様々な観点から、地域目線で、人目線で、未来の子ども、若者支援、働き方改革、苦しい人や弱い人、声を上げられない人に行政が寄り添い、支えあう仕組みをどのように設計し、制度からこぼれなかった人はいなかったのかを基軸に質疑を行った。

以下、款別に意見を述べる。総務費は、災害時要援護者名簿の名寄せなど、実践的な対応が出来るよう検討を。福祉費は、認知症カフェ運営への支援拡大を。都市整備費は、道路不具合通報システム導入による道路整備事業の見える化を。文化商工費は、マンガ・アニメ・演劇の表現の自由が守られる中で文化の発展を。介護保険事業会計では、介護給付費の精査における、人員配置とサービスの乖離による厳しい介護事業所の運営について支援策を求める。

令和元年度一般会計及び3特別会計の決算の認定に賛成する。

立憲としま

決算審査にあたっては、適切に財政運営及び事業が行われているかの観点から審議を進めた。令和元年度決算について、73億円の貯金超過であったことは評価。広報については、次世代技術を活用し、情報を見る側に有効的に届く情報発信を。としまぐらし会議で実施されているファシリテーションの他事業への横展開を。東西区民事務所への人的配置の拡充を。母子保健事業については、ゆりかご面接実施率の向上に向けて一層の努力を。特別支援教育については、児童数の推移に即した知的固定学級の増設と通学支援など、当事者に寄り添った拡充を。果敢で実現した室内にプレイルームを併設した都市型保育園の他地域での展開を。フードドライブについては、寄付された食品を保管する場所の確保とフードバンク事業への展開を。妊娠出産に関する若い女性が抱える困難に寄り添い、安心して過ごせる居場所の提供と区内の専門性を持つ団体との連携を。

令和元年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に賛成する。

テレビ改革党

テレビ改革党のくつざわ亮治は、令和元年度一般会計歳入歳出決算、令和元年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算、令和元年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算、令和元年度介護保険事業会計歳入歳出決算の認定に賛成する。

特色のある4つの公園、ハレザ池袋、東京建物プリリアホール、池袋保健所の移転、トキワ荘マンガミュージアムなど複数の事業を黒字のまま達成することは地方自治体の財政を知るものからすると誠に羨ましく思う。

強靱で優秀な豊島区財政ではあるが、来年度は新型コロナウイルスの影響で税収の大幅な減収が見込まれる。そうした中で、私は区が保有する車両について、本区は面積が約13キロ平米とコンパクトな自治体であり、管理費等を考えると職員が移動のために使用する車両についてはタクシーに変更することを要望する。区としては取るに足らないような、爪に火をともしようなことかもしれないが、こういった節約努力もなお一層必要になってくると考